

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

久万地域のスギ材等を熱源とする木材乾燥事業

排出削減事業者名：久万広域森林組合

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

株式会社イースクエア

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	久万広域森林組合
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	久万広域森林組合 父野川事業所
住所	愛媛県上浮穴郡久万高原町父野川乙586-3
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
排出削減事業共同実施者名	株式会社イースクエア
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

久万地域のスギ材等を熱源とする木材乾燥事業

2.2 排出削減事業の目的

木材乾燥用の木質バイオマスボイラを新設し、化石燃料ボイラを導入する際に想定される CO₂ 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

バイオマスボイラの新設により、化石燃料ボイラを導入する際に想定される CO₂ の排出削減を行う。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008年12月22日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

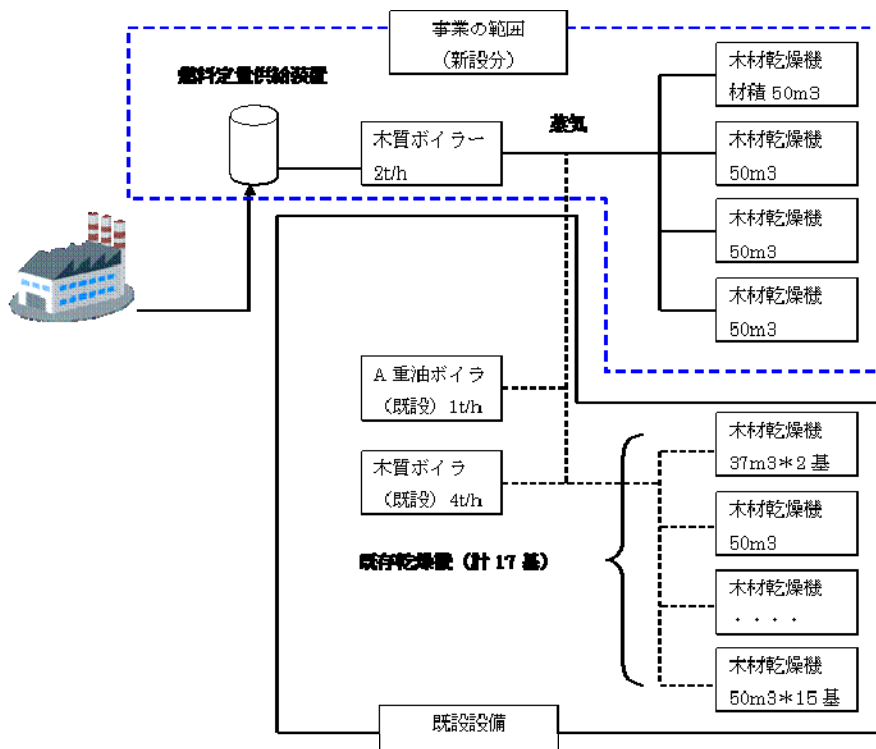
活動量・原単位は採用しない

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本プロジェクトの範囲は新設する木質バイオマスボイラー（2t/h）及びそれを利用する木材乾燥施設（4基）である。なお、既設設備として木材乾燥機（17基）と木質バイオマスボイラー（4t/h）とA重油ボイラー（1t/h）が存在する。



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
HE_{PJ}	事業実施後ボイラーの生成熱量	GJ/年	17,746.7	作業日報 (ボイラ給水量・ ボイラ蒸気圧)	変更なし
ϵ_{BL}	ベースラインのボイラー効率	%	87.4	カタログ値	変更なし
$CF_{A重油, BL}$	ベースライン燃料 (A 重油) の単位発 熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	0.01890	デフォルト値より計算	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0.0 (t-CO2)
EM _{PJ}			0.0 (t-CO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
17,746.7 (GJ) 87.4 (%)		0.01890 (tC/GJ)	1,407.1 (t-CO2)
EM _{BL}			1,407.1 (t-CO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	1,407.1
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	1,407

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー量

	モニタリング期間 (2011年 1月 1日 ~ 2011年 12月 31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス熱利用量	GJ	17,746.7	17,746.7	457.9